

REFINITIV. リフィニティブ

高校生向け
資産
形成
がわかる

担当=DZHフィナンシャルリサーチ・石原敬子

Refinitiv(リフィニティブ)はロンドン証券取引所グループ(LSEG)傘下の金融情報提供会社です

知りたい

投信 なるほど
リッパー

夏休み集中講義(補講)～投資信託のすすめ

大切なお金減らないよう分散投資

8月の「夏休み集中講義」では、資産形成の大切さ、経済や金融のつながりを解説しました。投資はお金もうけだけでなく、経済をうまく回して、暮らしを良くするのに欠かせないもの。けれど、株式や債券への投資は、企業や国への信頼が下がると価値が目減りします。

「せっかく投資をしたのに、見込みが外れてうまくいかなかった」とならないようにするには、タイプの違う複数の株式や債券を買う「分散投資」が効果的です。でも、あれこれ買うには、たくさんのお金が必要。そこで投資信託(投信)の出番です。

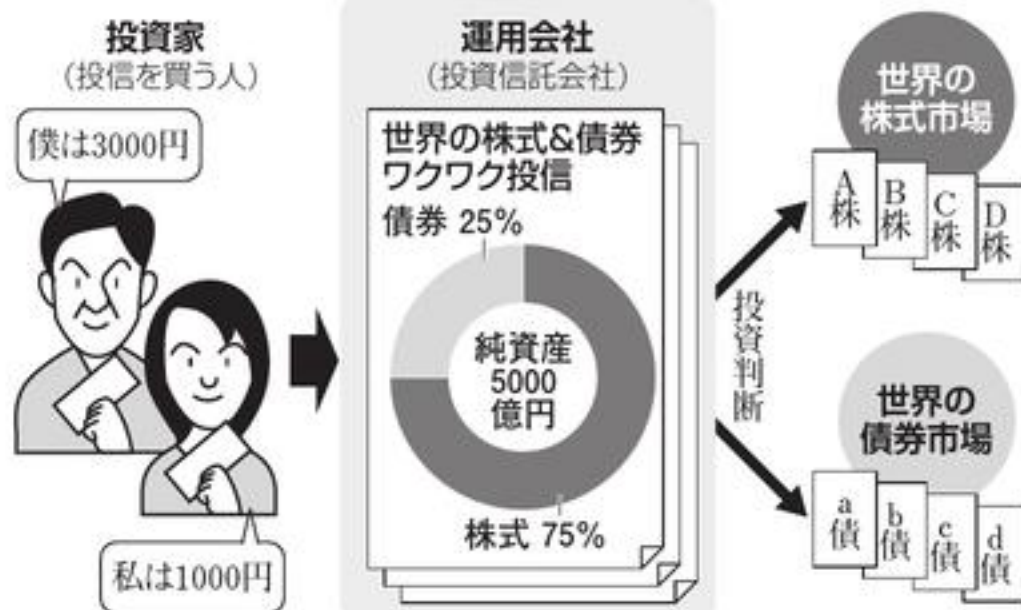
ひとつの金融商品に、たくさんの株式や債券などを詰め合わせたものが投信です。少ない金額でも分散投資ができちゃうのです。取り扱いが銀

行や証券会社。インターネット証券会社の中には、最低100円から買えたり、1円から積み立てられたり、というところもあります。

では、架空の「世界の株式&債券ワクワク投信」で説明しましょう＝イラスト。世界の株式を75%、債券を25%という配分の詰め合わせです。金融の詳しい知識を持つ運用会社が預かって、投資家の代わりに株式や債券を選んで運用します。

この投信を1000円で申し込んだ人は、世界の株式750円分と債券250円分を買ったこととなります。3000円の人、株式2250円分と債券750円分です。ひとりずつはわずかな金額でも、みんなのお金を合わせると、5000億円というお財布。実際、日本で売られている本物の投信は、数億

投資信託なら、少額でも分散投資ができる



円から数千億円というものが多いです。

もし、詰め合わせた企業のうち1社が倒産したとすると、その企業の株式の価値は消滅します。倒産した企業の株式だけに投資していたら、大切なお金はゼロ円です。ワクワク投信の場合はどうでしょうか。詰め合わせた資産の合計金額です。他の企業の株式や債券が値上がりしていれば、カバーできる可能性があるのです。

倒産の例は極端ですが、株

価は毎日のように上下しています。悪いニュースで株価が下がると、一時的に投信の価値が減るかもしれませんが、魅力ある企業を多く詰め合わせていけば、いずれ投信の価値は回復します。詰め合わせは通常、数十から数百種類ですが、世界46カ国、約2500社もの株式を詰め合わせた投信もあります。

◇

毎月第1金曜日の朝刊で、高校生向けの内容をお届けしています。お楽しみに!